

ダイバーシティ（多様性）に係る 検討用基礎資料

グラフに表記されている「N=*」（*は数字）は、集計対象の母数を表しています

区の概要

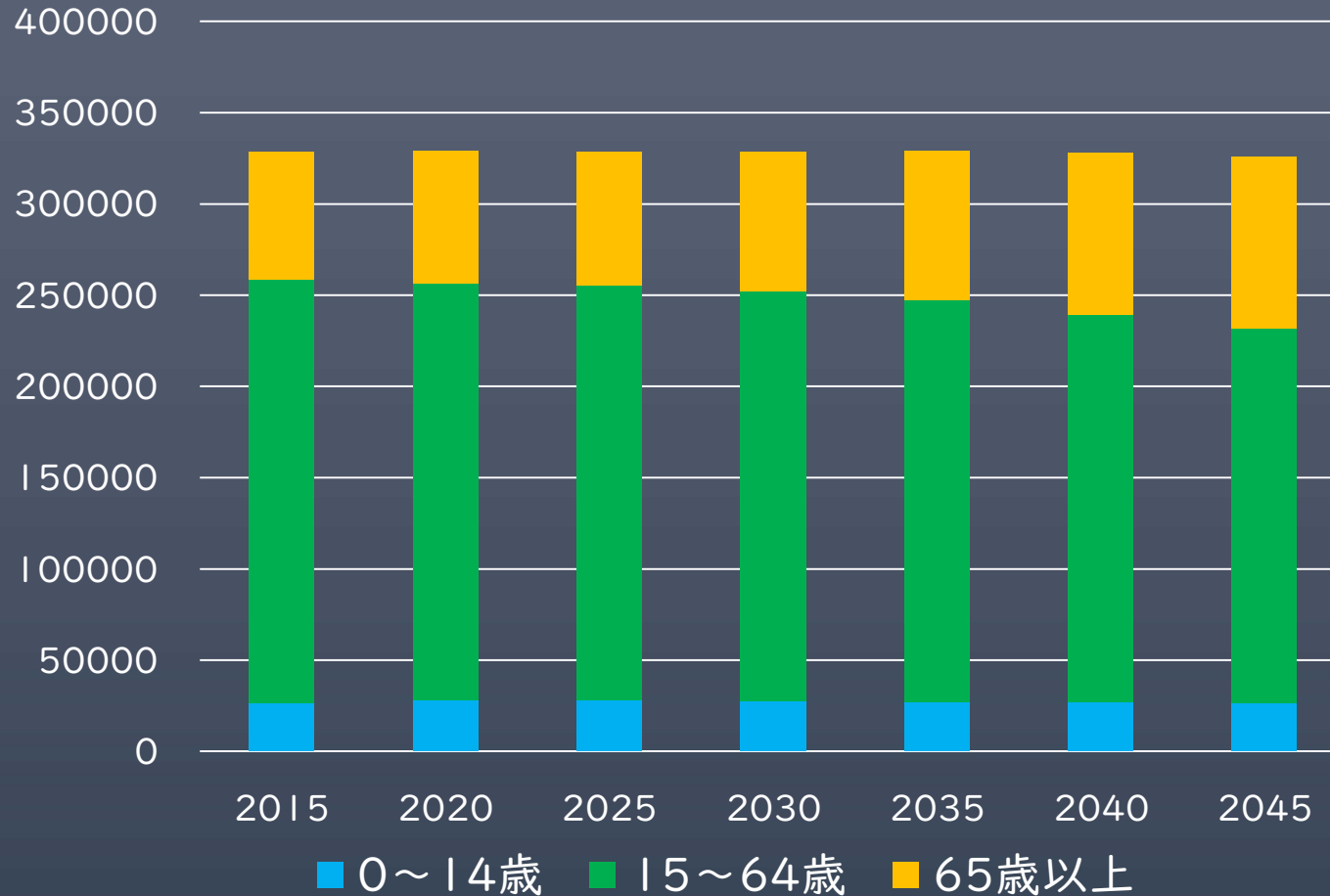
区の基本情報

項目	平成28年(2016年)1月	令和3年(2021年)1月
人口	321,734人	334,632人
人口(男性)	162,336人	168,755人
人口(女性)	159,398人	165,877人
年少人口(0~14歳)	8.7%	9.0%
生産年齢人口(15~64歳)	70.5%	70.7%
老年人口(65歳以上)	20.8%	20.3%
外国人人口	13,872人	17,809人
世帯数	194,834世帯	207,425世帯
1世帯あたりの人員	1.65人	1.61人

出典：住民基本台帳

I 区の概要

I-2 将来人口推計（長期）

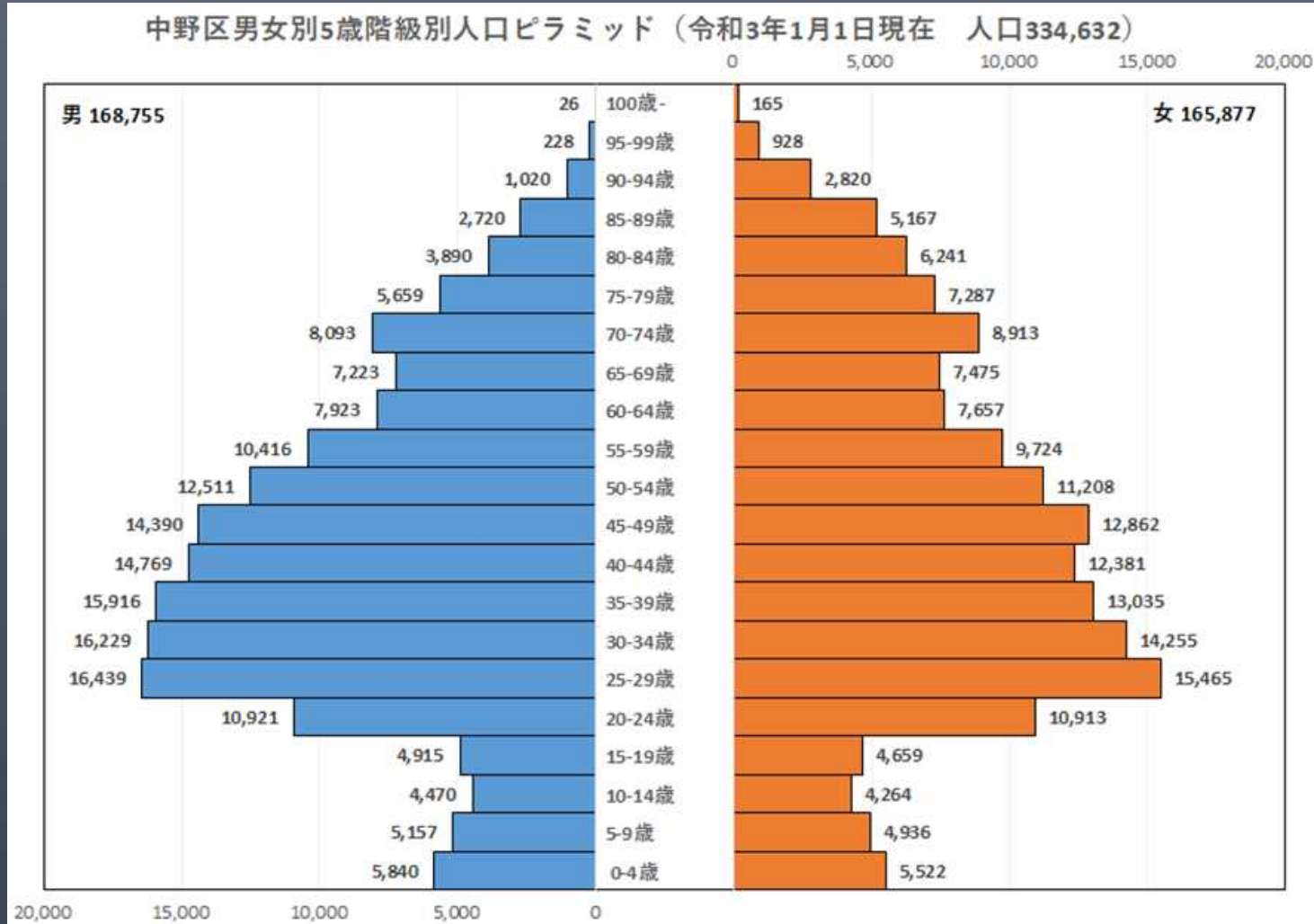


注) 2015年10月1日現在の国勢調査結果を基準に、国立社会保障・人口問題研究所が推計（2018年3月公表）

出典：中野区統計書2020

区の概要

1-3 年齢別人口

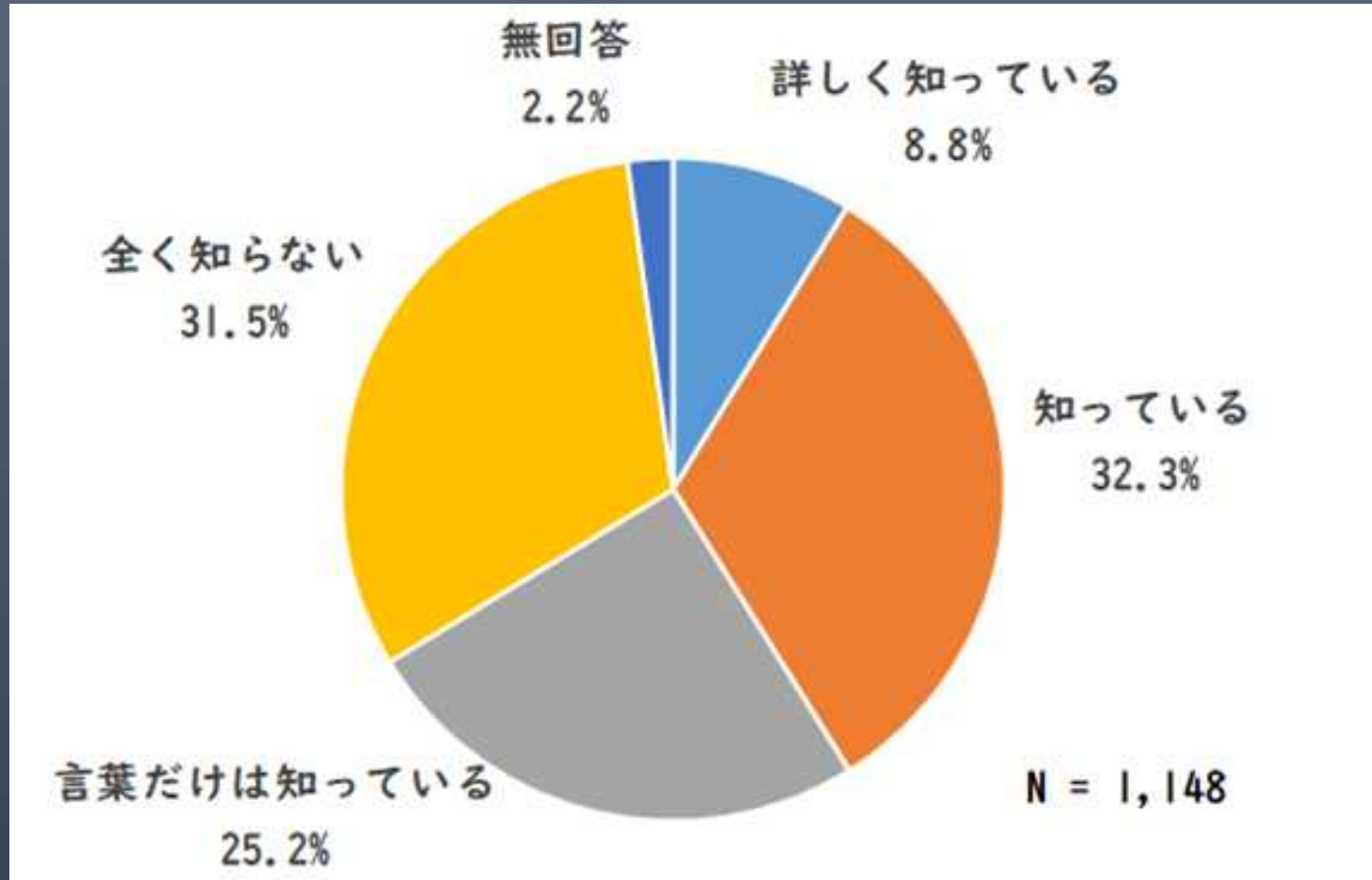


出典：企画課調べ

Ⅰ 区の概要

Ⅰ-4 ユニバーサルデザインの推進

Ⅰ-4-1 ユニバーサルデザインの認知度

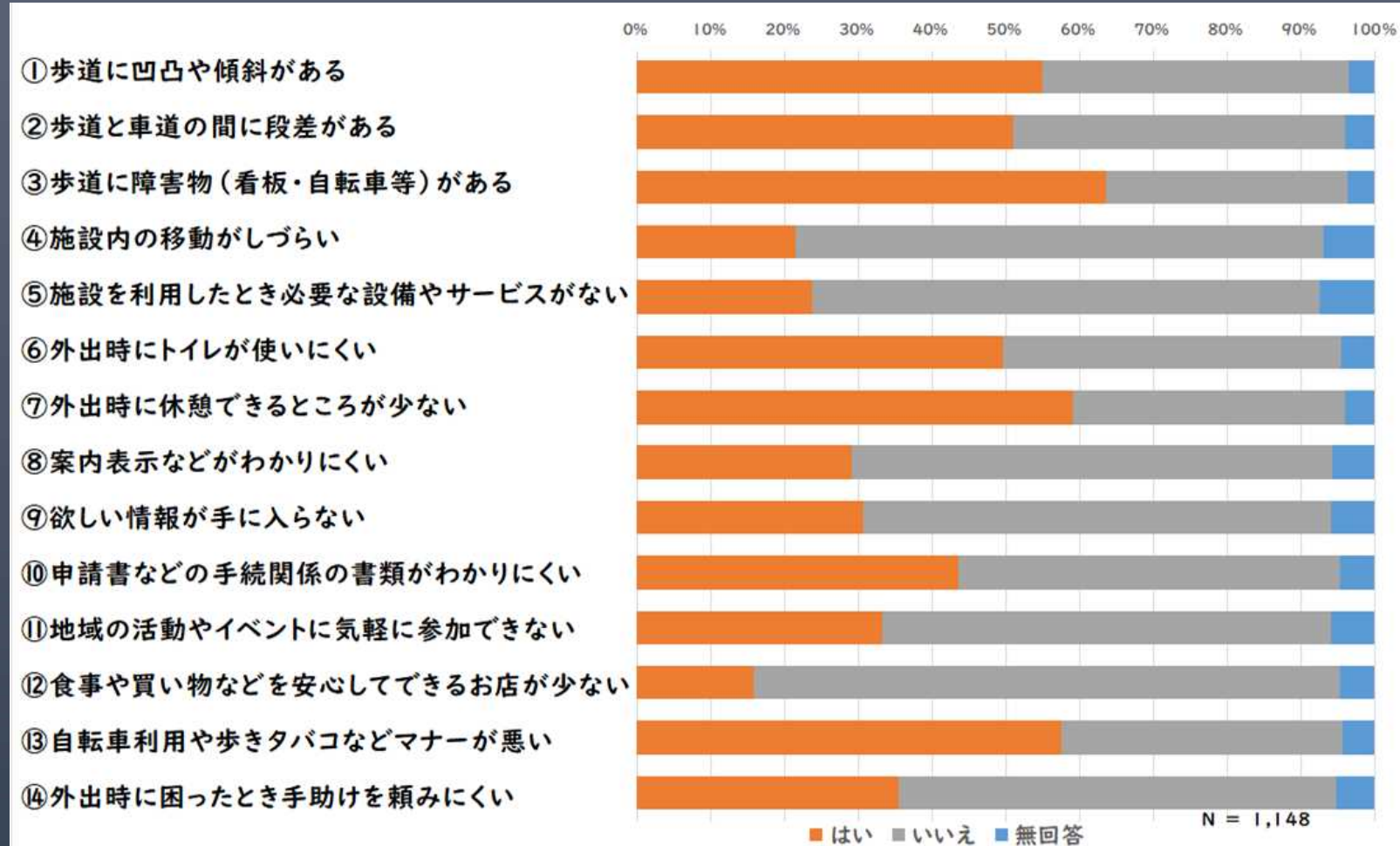


出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

Ⅰ 区の概要

Ⅰ-4 ユニバーサルデザインの推進

Ⅰ-4-2 普段の生活で感じる不便



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

1 区の概要

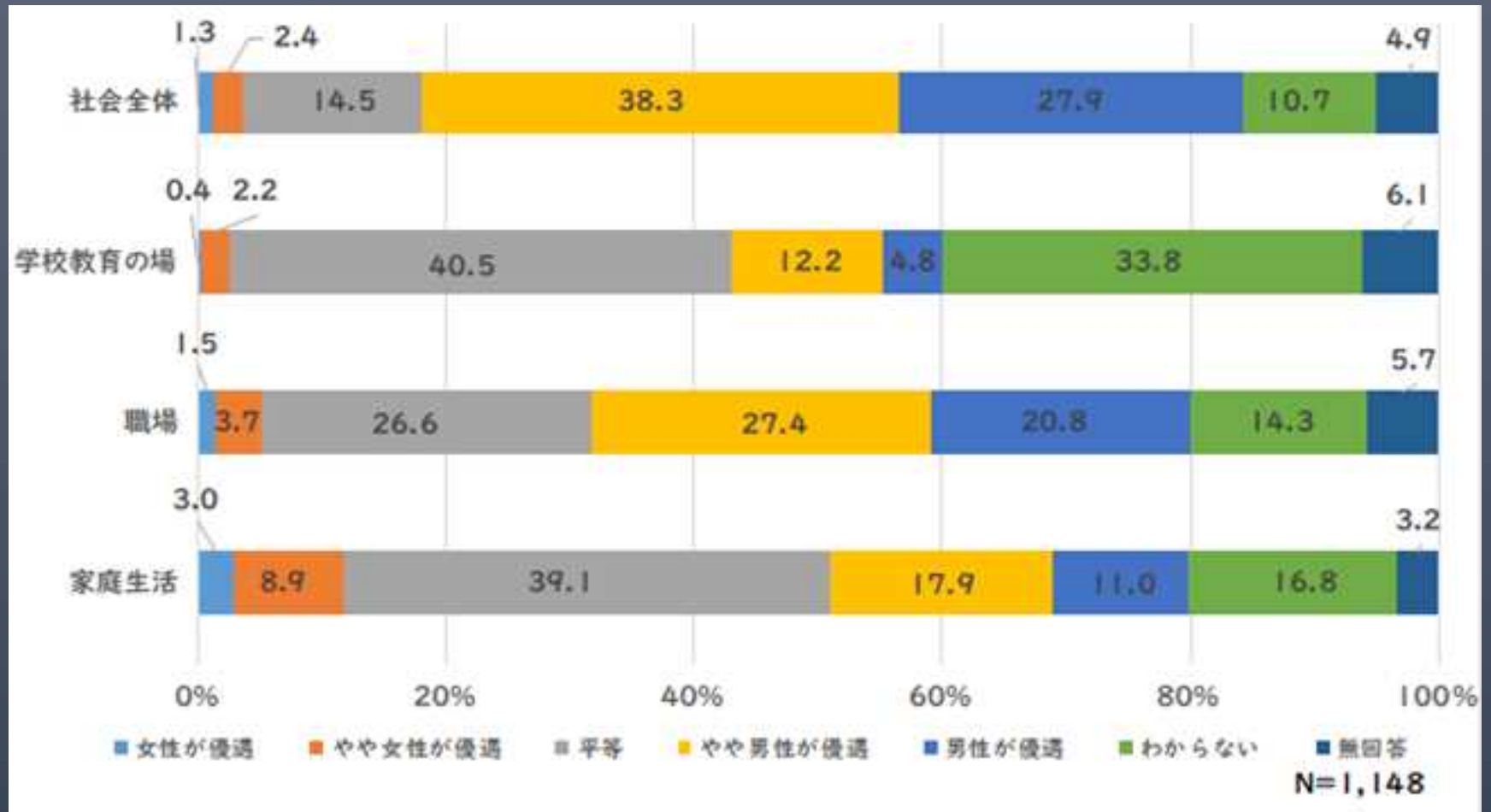
1-5 関心のある人権課題



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

2 男女共同参画等の視点

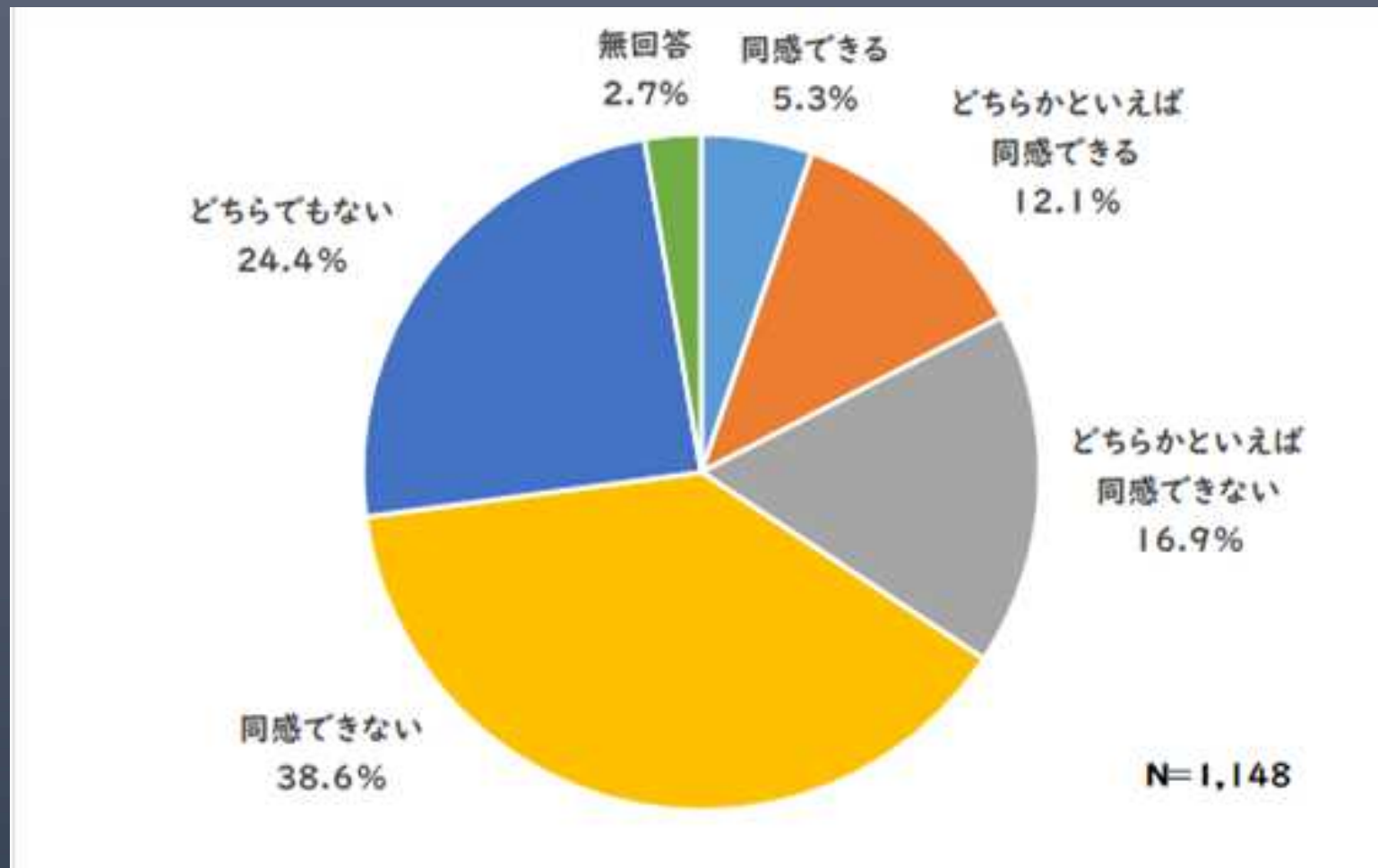
2-1 男女の地位の平等感



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

2 男女共同参画等の視点

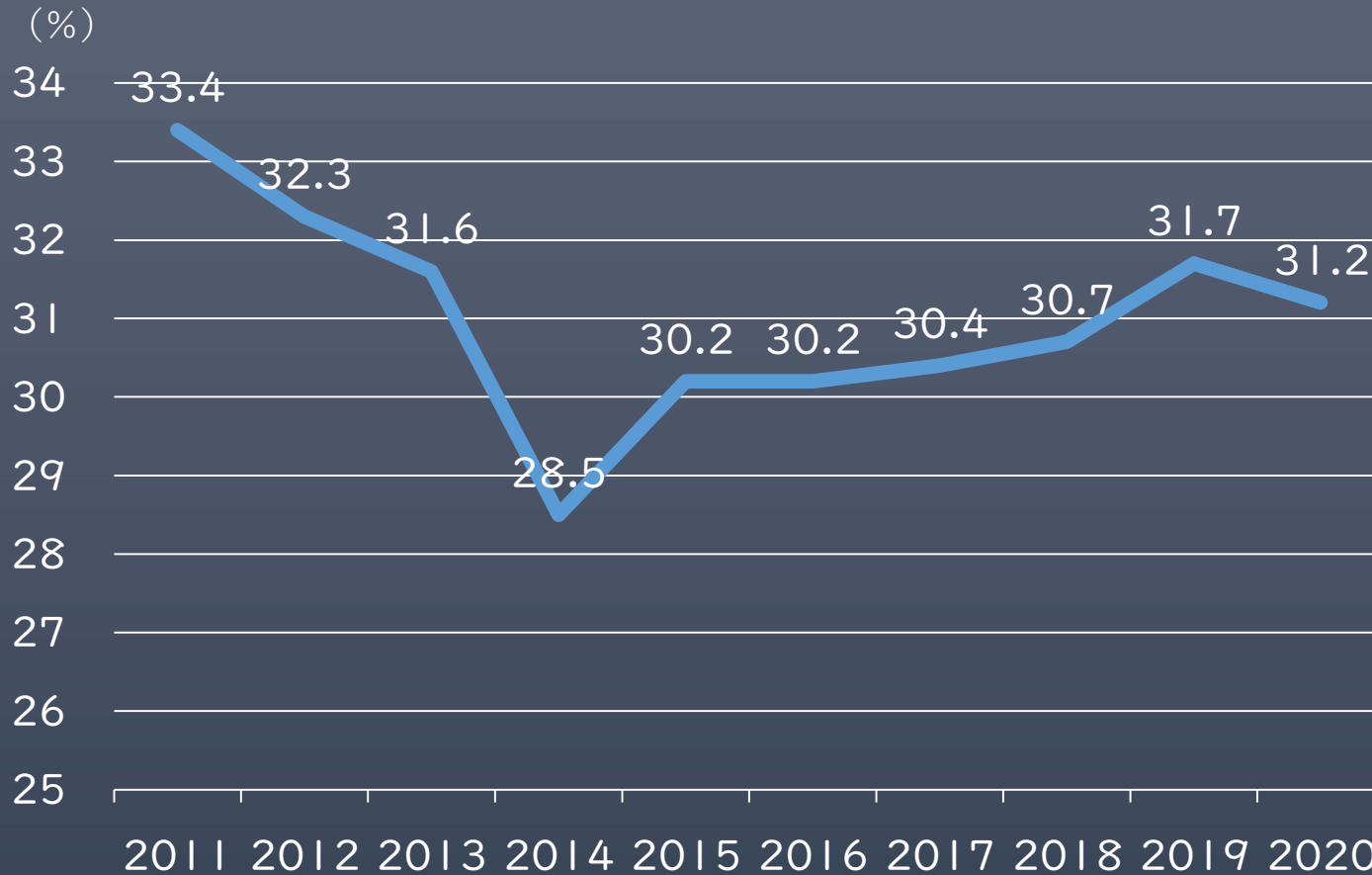
2-2 性別役割分担意識（男は仕事、女は家庭）



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

2 男女共同参画等の視点

2-3 審議会等における女性の参画率



— 条例設置の附属機関等

出典：企画課調べ

2 男女共同参画等の視点

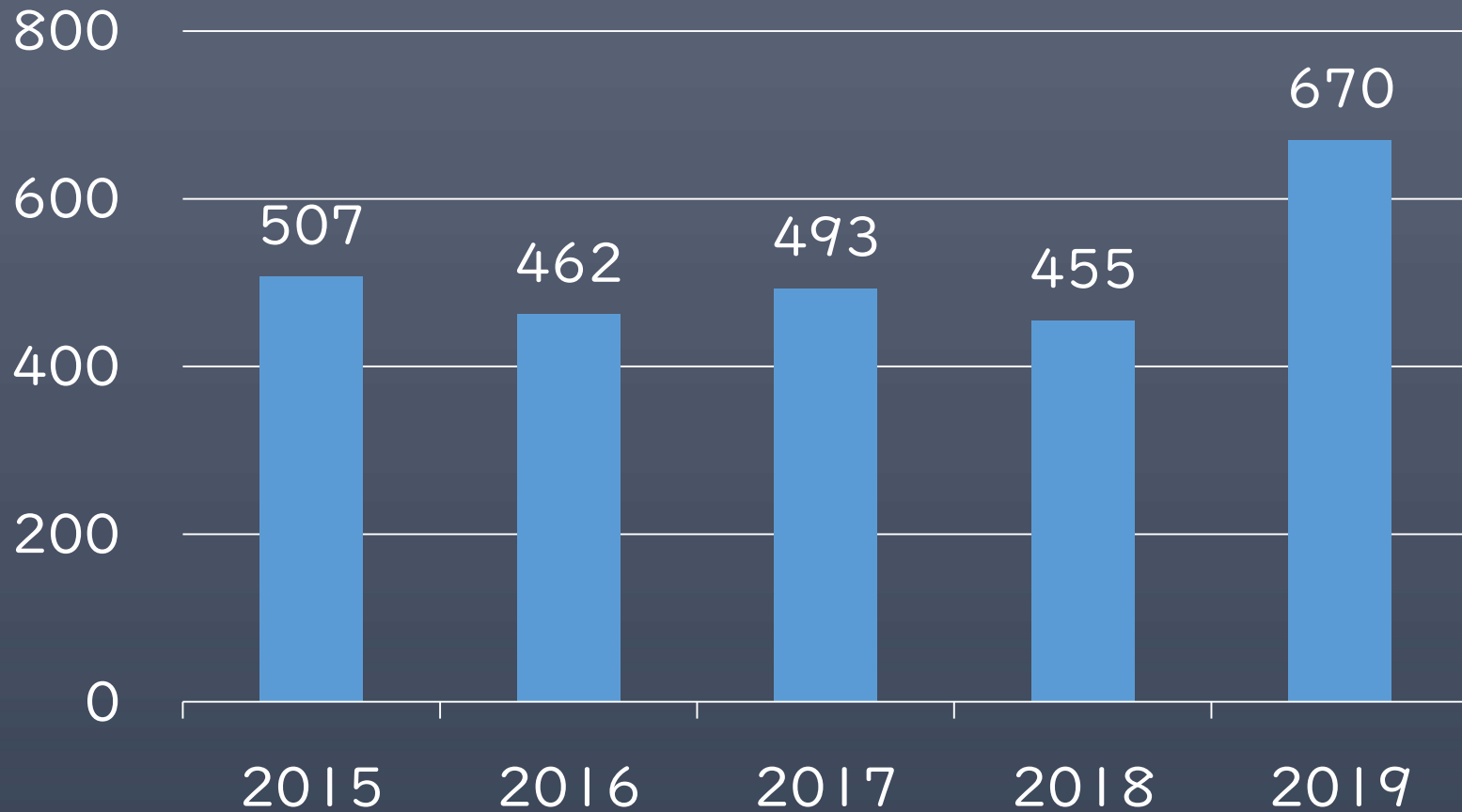
2-4 女性の5歳階級別労働人口比率



出典：国勢調査

2 男女共同参画等の視点

2-5 区のDV相談件数推移



出典：企画課調べ

2 男女共同参画等の視点

2-6 ジェンダー・ギャップ指数2020

2-6-1 上位国および主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
21	イギリス	0.767
53	アメリカ	0.724
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

※ジェンダー・ギャップ指数
経済・政治・教育・政治分野の男女格差を示す指標。0が完全不平等、1が完全平等となる

出典：世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数2020」

2 男女共同参画等の視点

2-6 ジェンダー・ギャップ指数2020

2-6-2 各分野における日本のスコアと順位

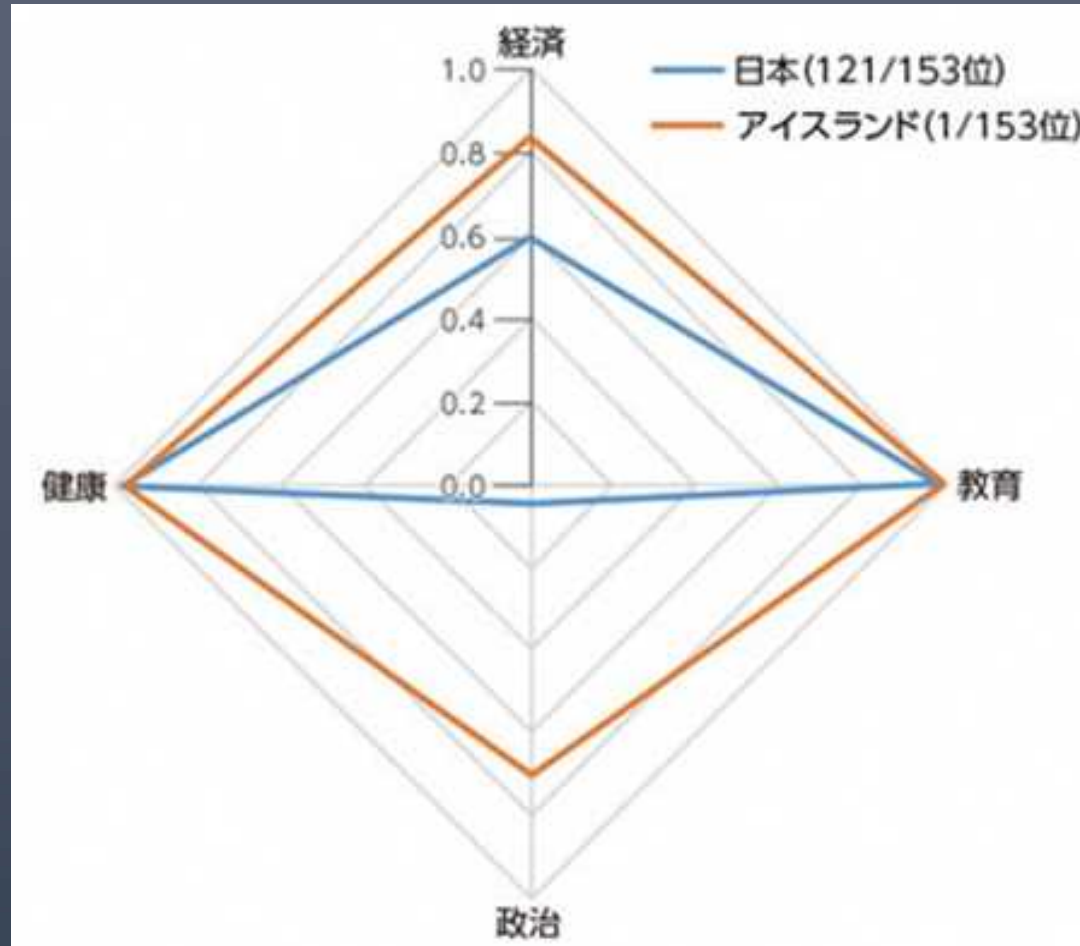
分野	スコア	順位
経 済	0.598	115位
政 治	0.049	144位
教 育	0.983	91位
健 康	0.979	40位

出典：世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数2020」

2 男女共同参画等の視点

2-6 ジェンダー・ギャップ指数2020

2-6-3 各分野の比較（日本とアイスランド）



出典：内閣府男女共同参画局ホームページ

2 男女共同参画等の視点

2-7 中野区パートナーシップ宣誓件数

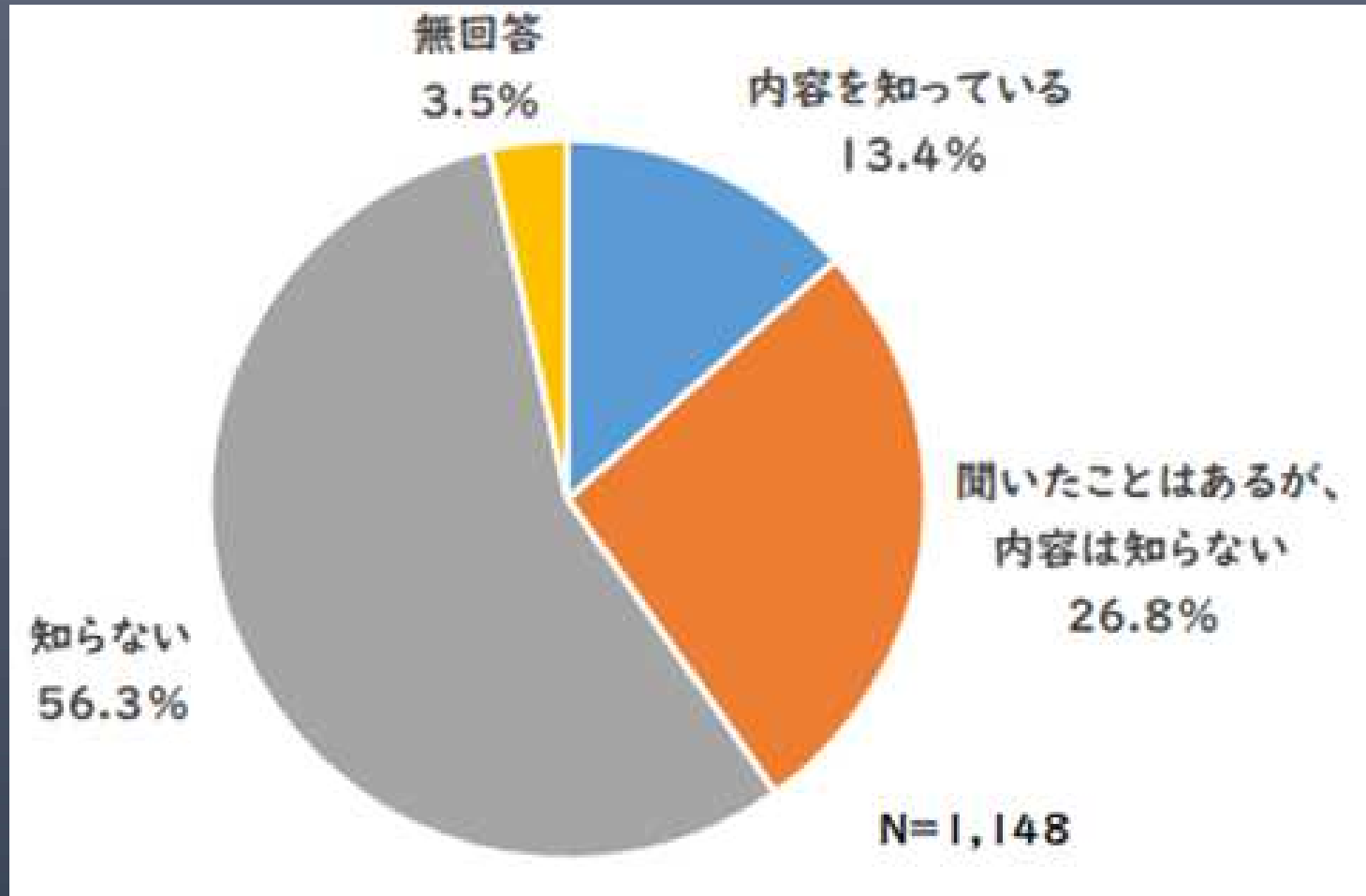
年度	宣誓件数	左記のうち公正証書等受領証も併せて交付した件数
2018	21件	4件
2019	28件	1件
2020	17件	2件
合計	66件	7件

※中野区パートナーシップ宣誓
パートナーシップの関係にあることを宣誓した戸籍上の性別が同一の二人に対し、
宣誓書等受領証等を交付する取組。2018年8月から実施。

※2020年12月31日現在
出典：企画課調べ

2 男女共同参画等の視点

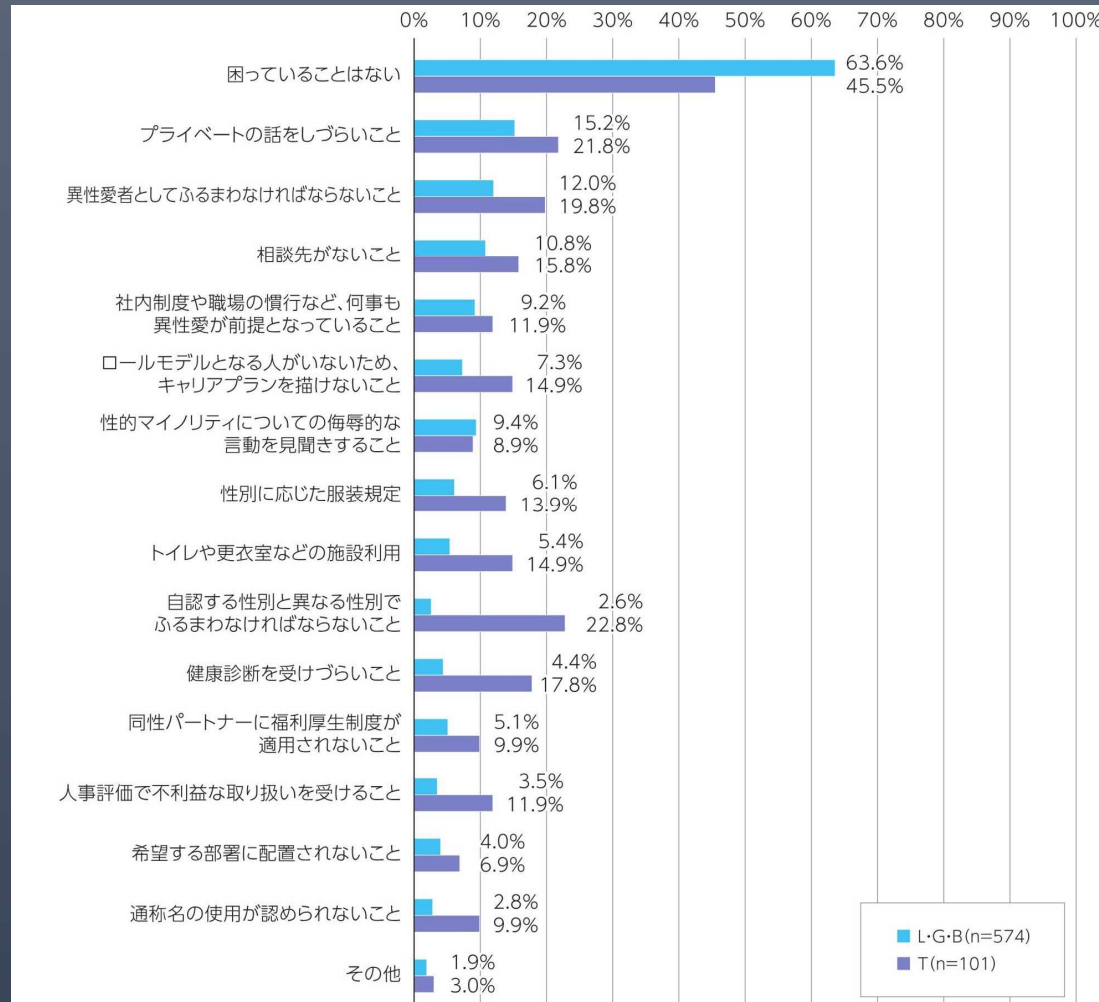
2-8 中野区パートナーシップ宣誓の認知度



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

2 男女共同参画等の視点

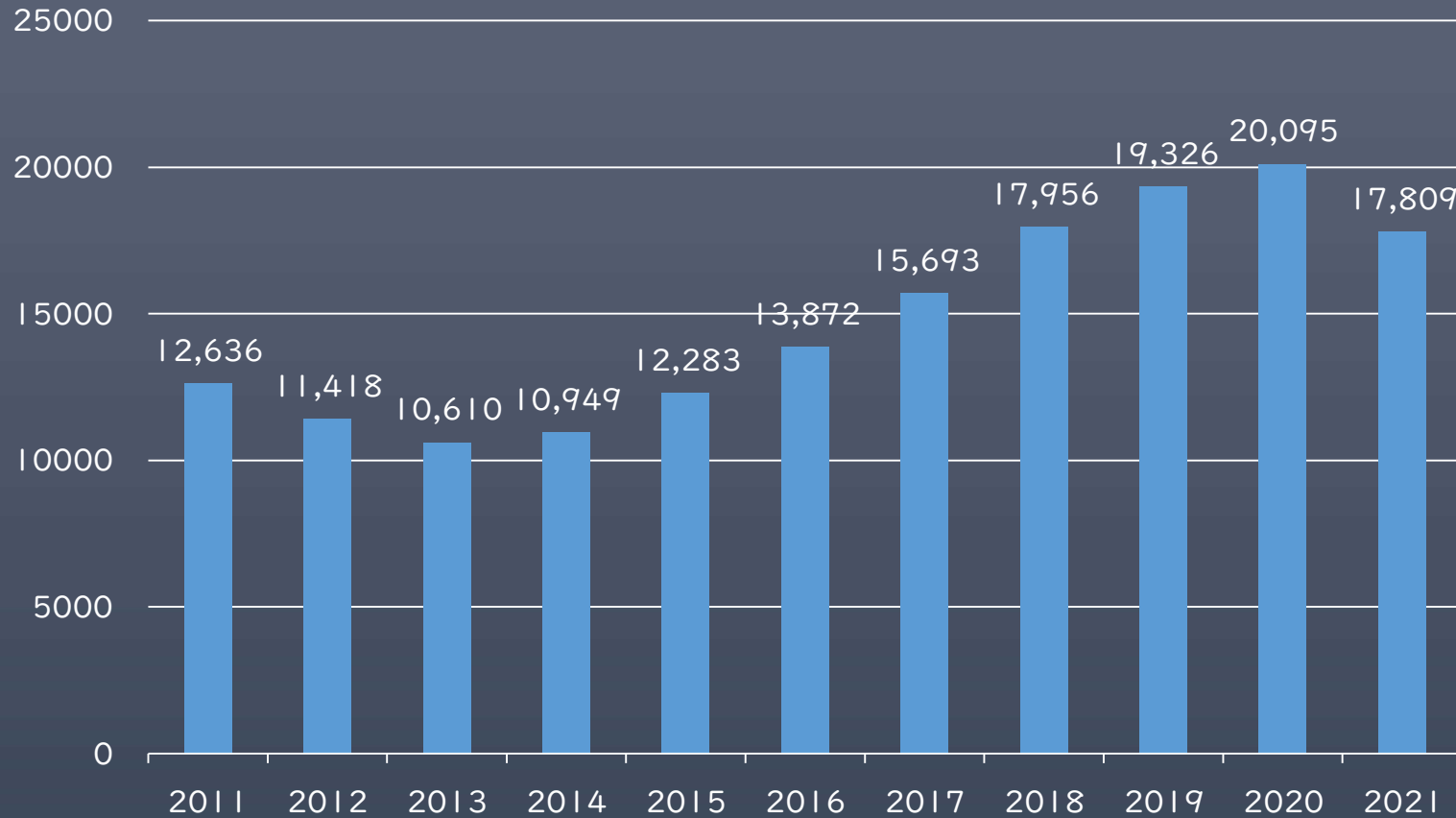
2-9 LGBTが抱える職場での困りごと



出典：「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集
～性的マイノリティに関する取組事例～」(令和元年度厚生労働省委託事業)

3 多文化共生の視点

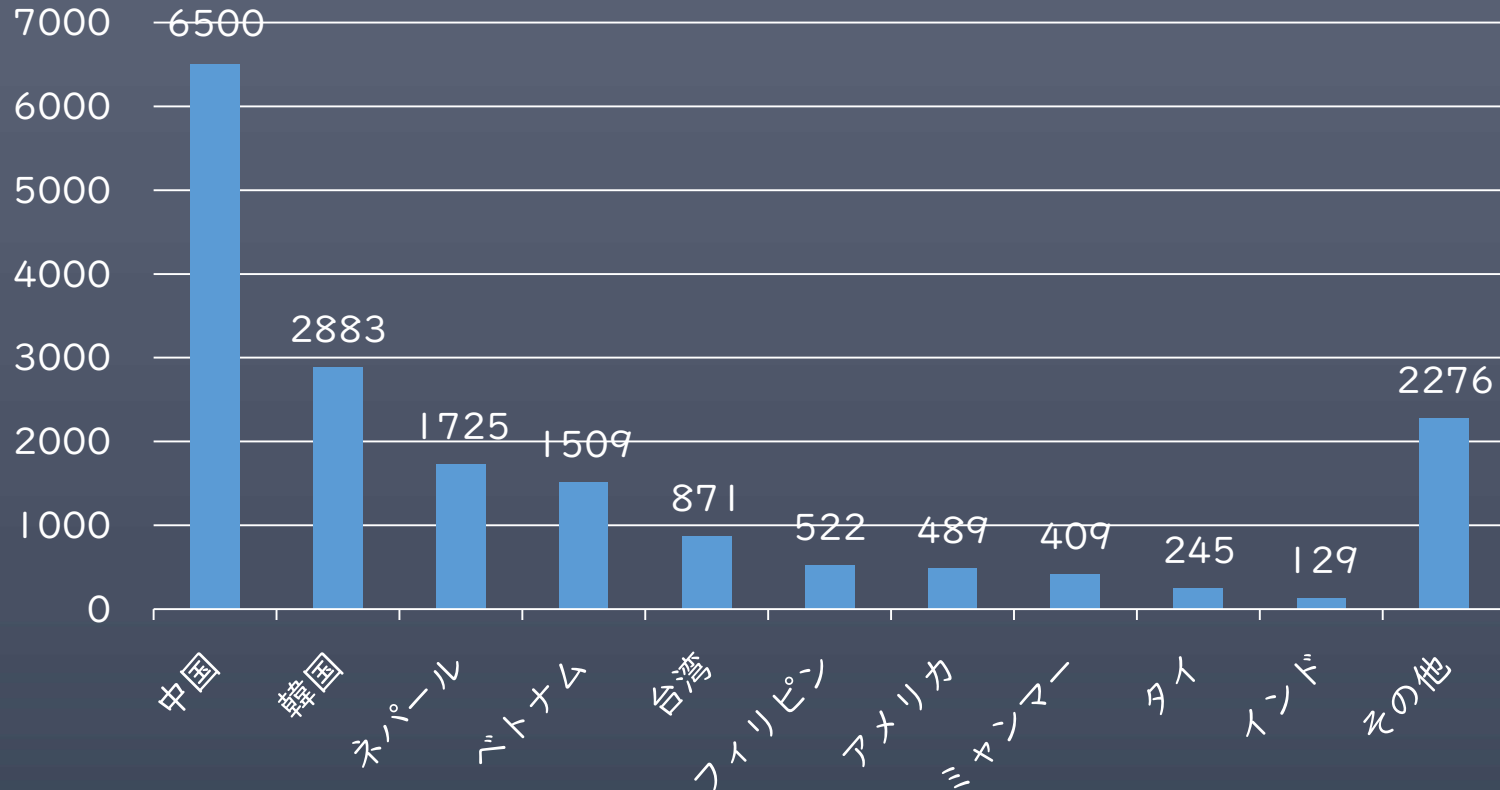
3-1 外国人人口の推移



各年1月1日現在
出典：東京都の統計

3 多文化共生の視点

3-2 国籍別外国人人数(上位10か国・地域)



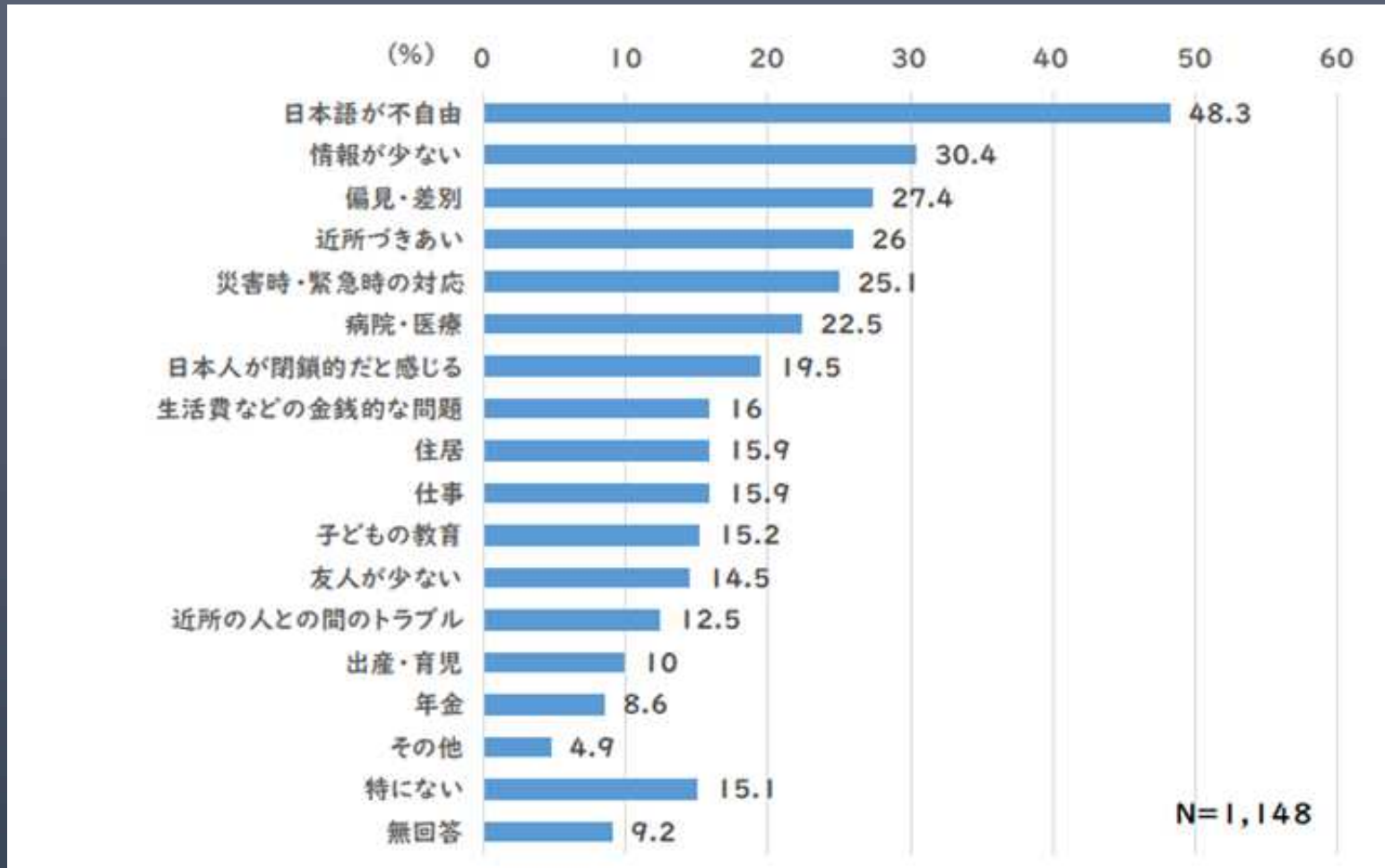
2020年10月1日現在(総数17,558人)

出典：東京都の統計

3 多文化共生の視点

3-3 外国の方の生活に対するイメージ

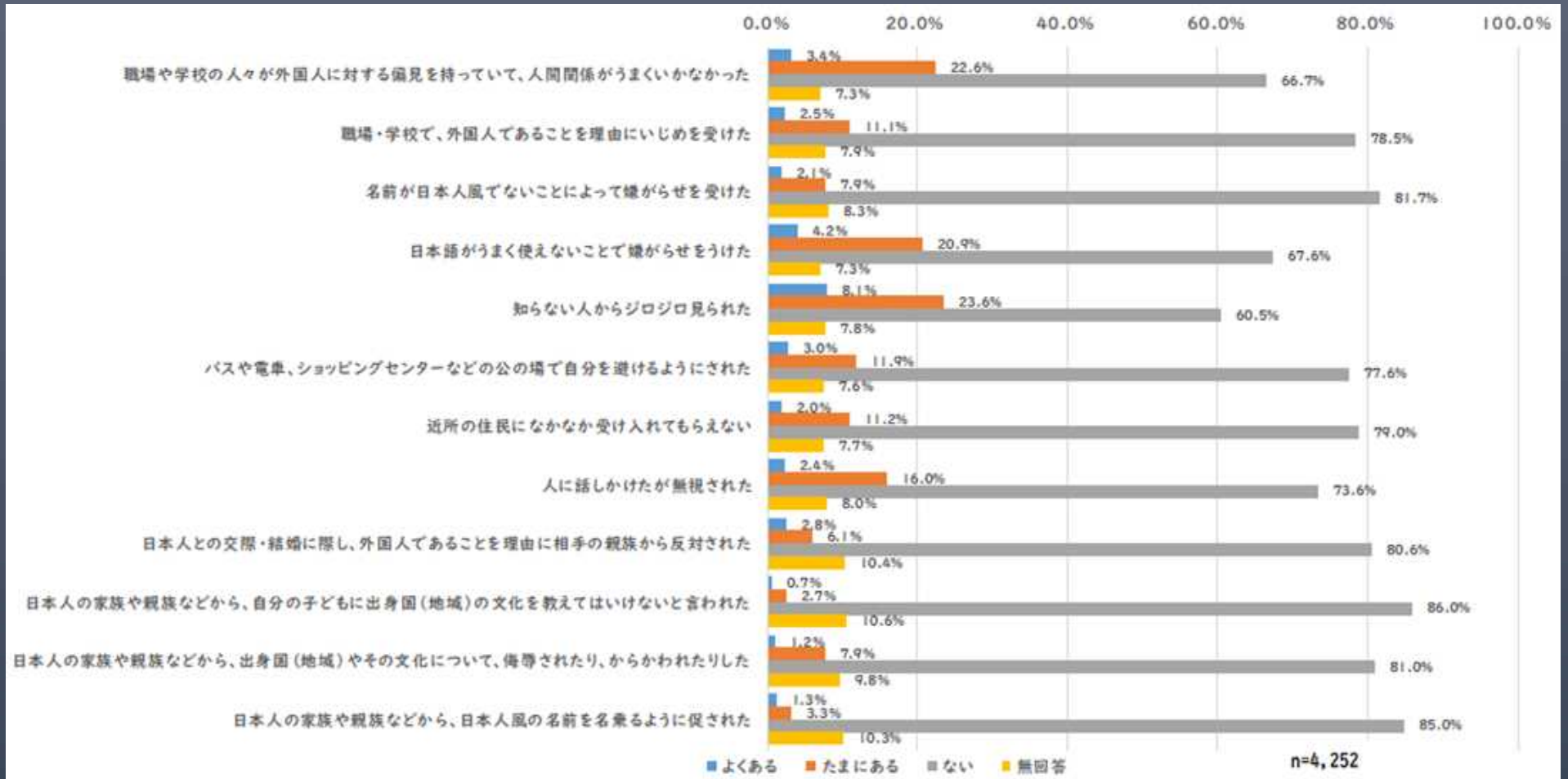
-周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことはなんだと思うか-



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

3 多文化共生の視点

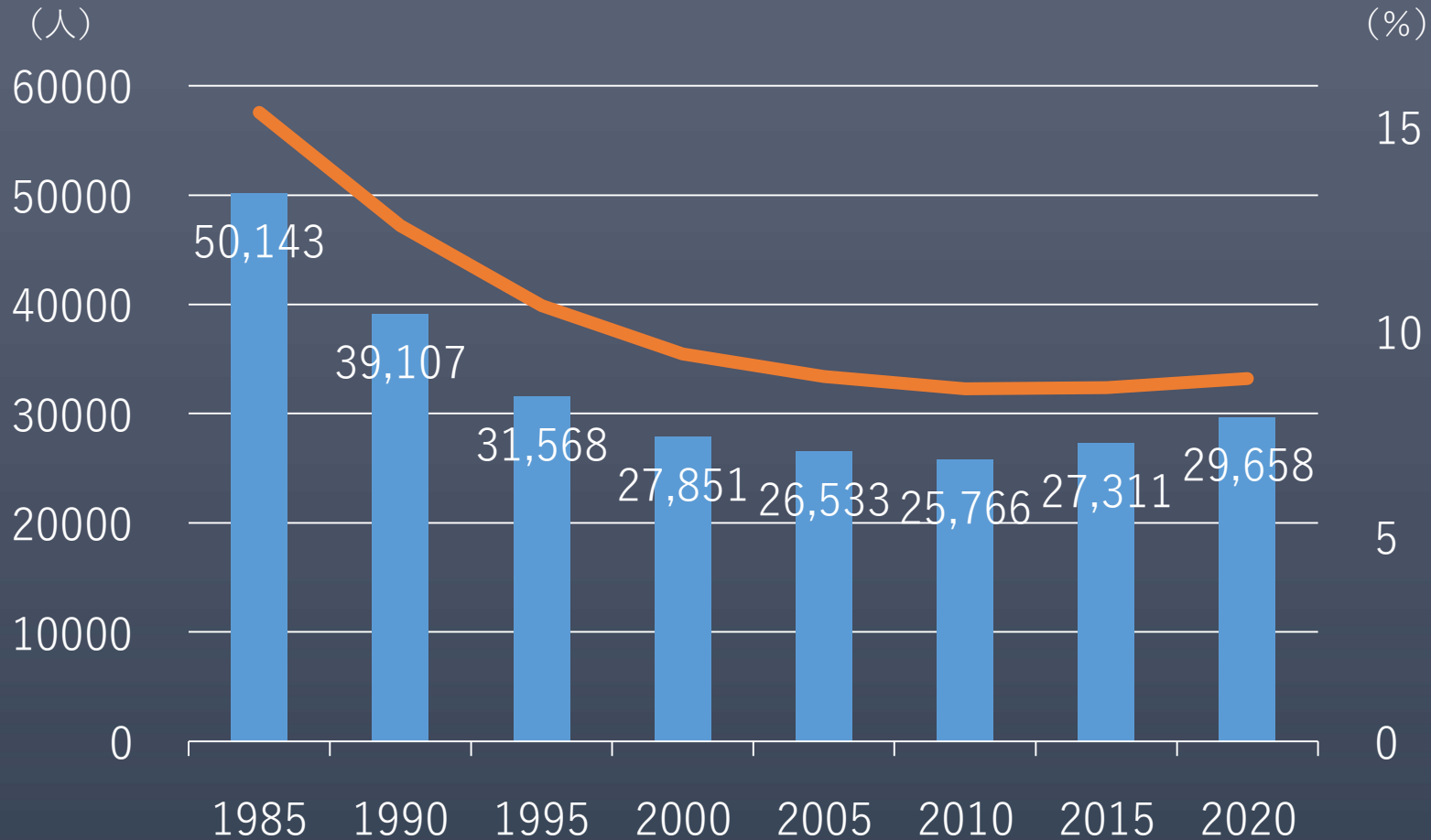
3-4 外国人が受けた差別（過去5年間）



出典：外国人住民調査報告書（平成28年度法務省委託調査研究事業）

4 年齢・世代の視点

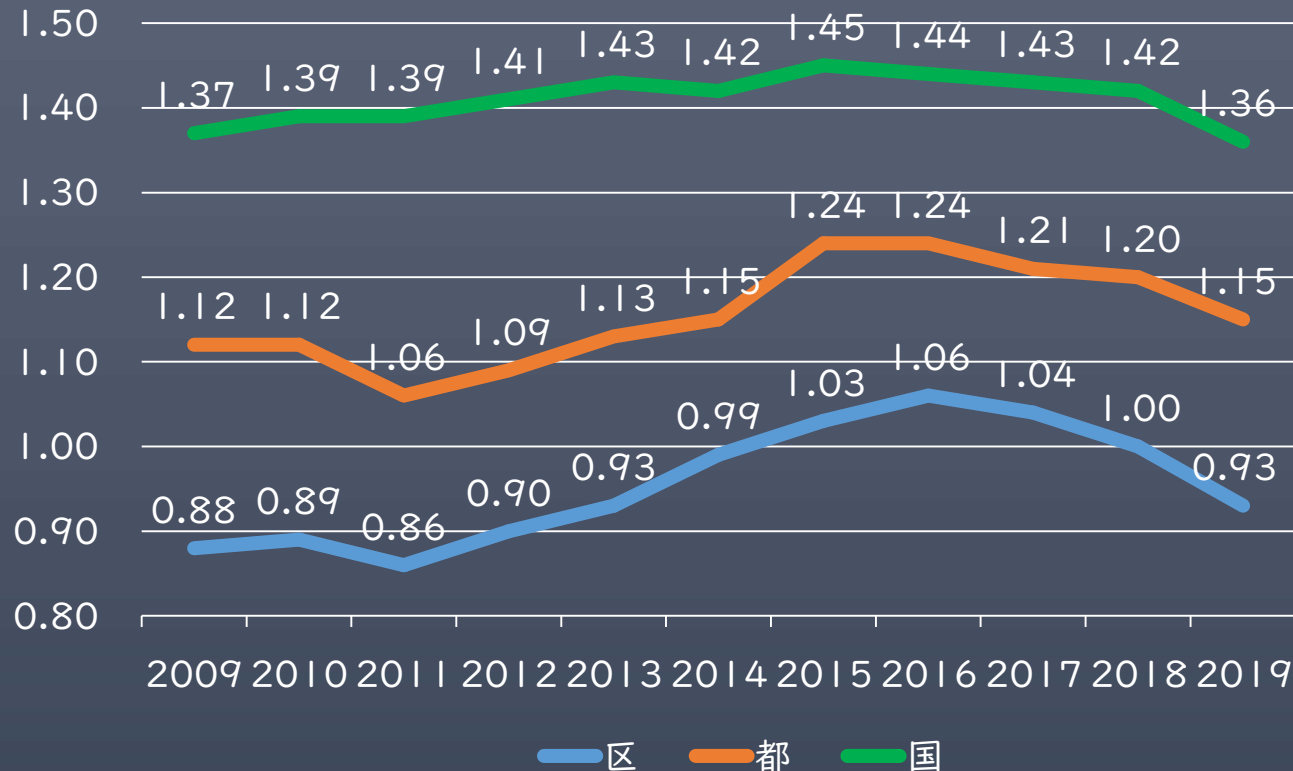
4-1 年少人口（0～14歳）と割合の推移



各年1月1日現在 2015年以降は外国人を含む
出典：住民基本台帳

4 年齢・世代の視点

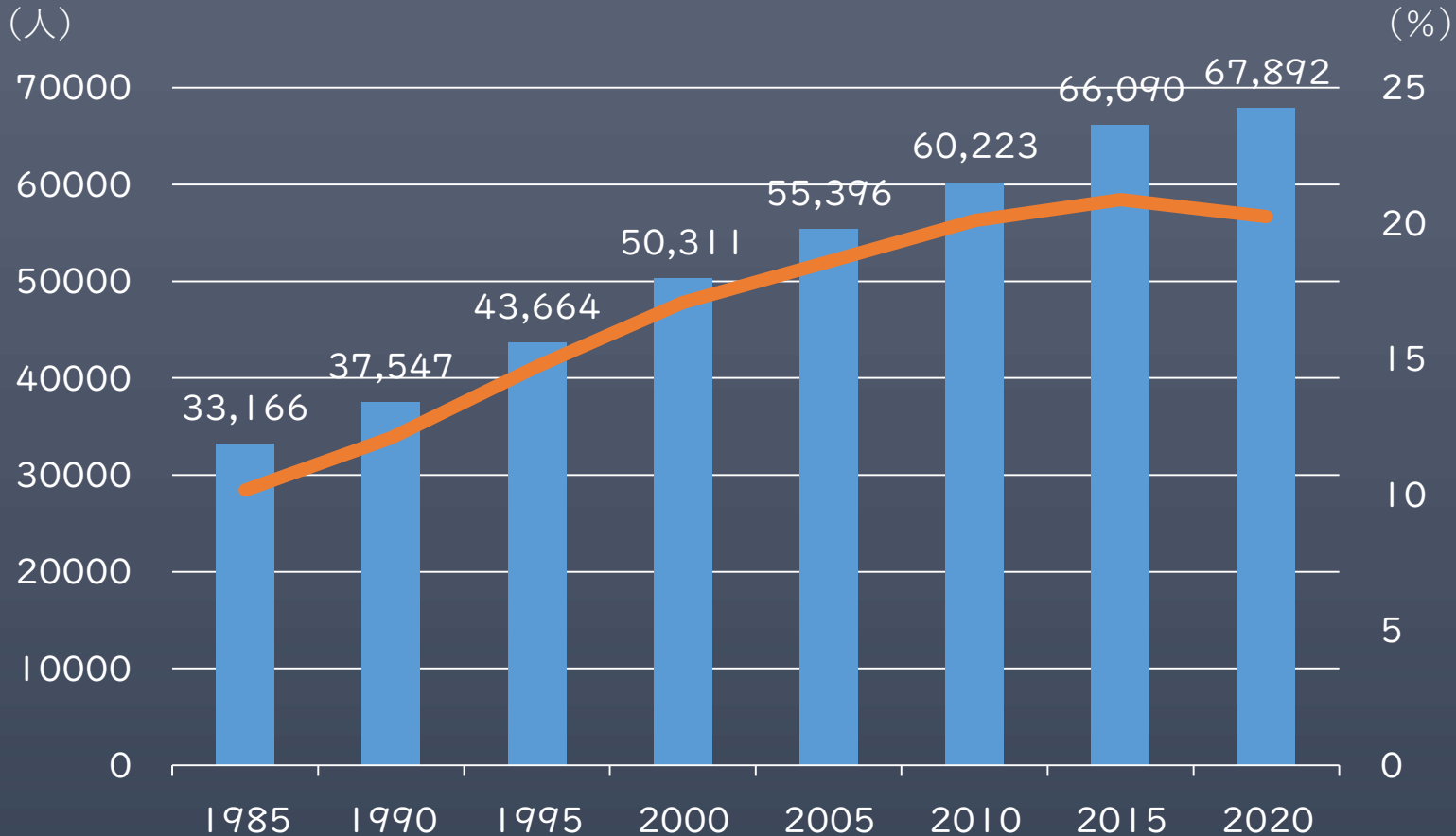
4-2 合計特殊出生率の推移



出典：〔国〕人口動態統計（厚生労働省）
〔都・区〕人口動態統計（東京都福祉保健局）

4 年齢・世代の視点

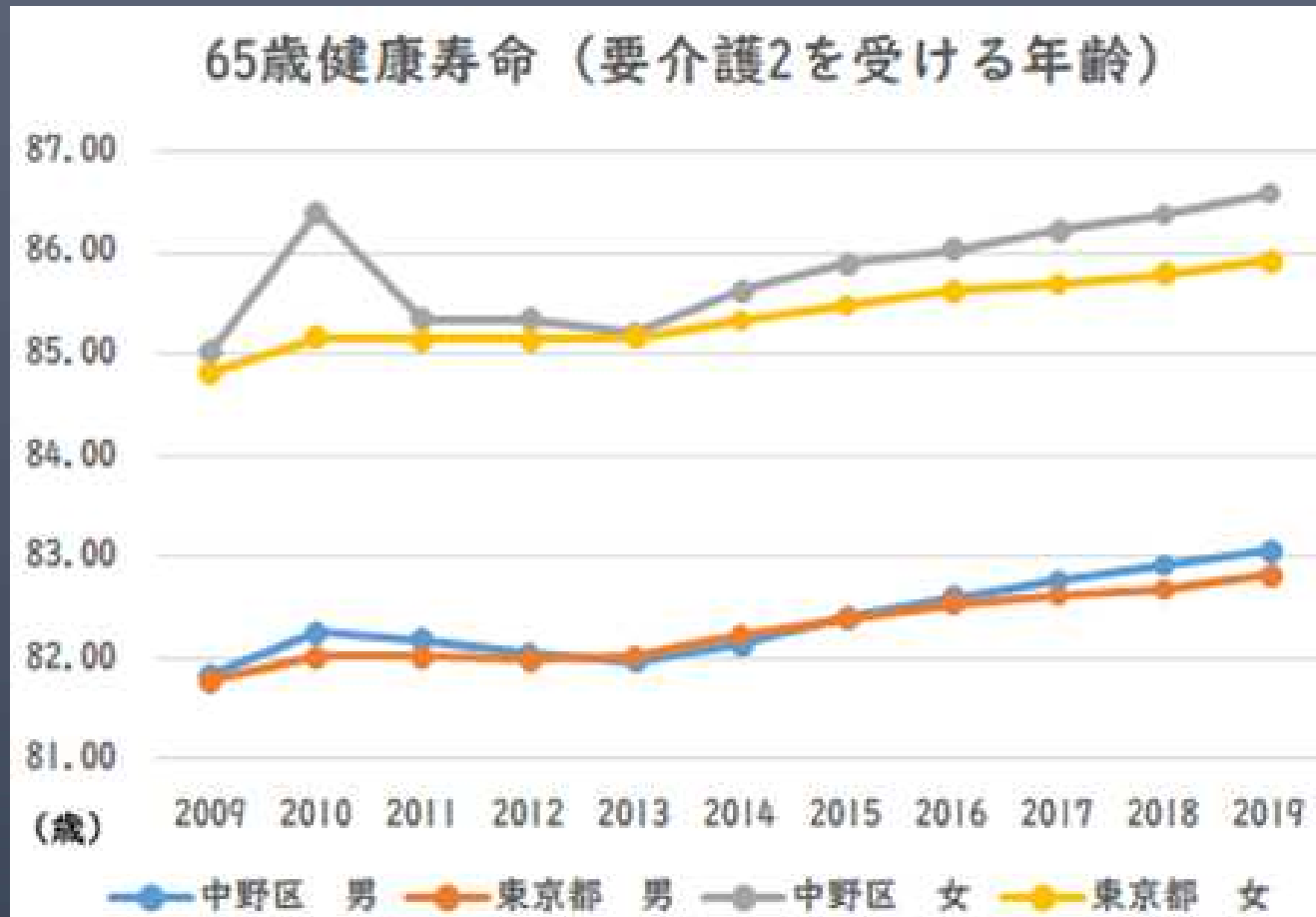
4-3 高齢者数と高齢化率の推移



各年1月1日現在 2015年以降は外国人を含む
出典：住民基本台帳

4 年齢・世代の視点

4-4 65歳健康寿命

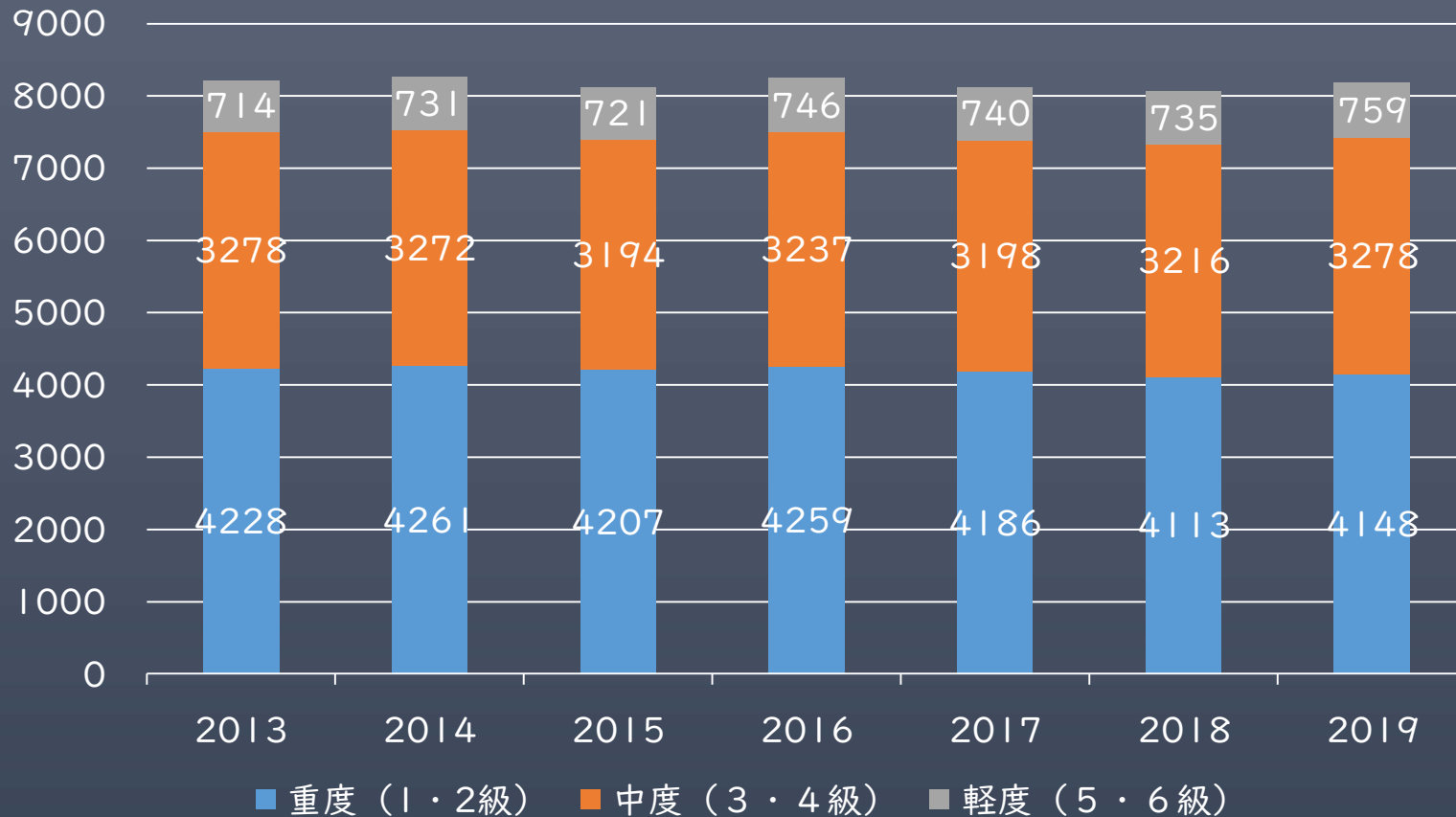


※65歳健康寿命
65歳の人々が、何らかの障害のために要介護認定を受けるまでの状態を健康と考え、その障害のために認定を受ける年齢を平均的に表すもの。

出典：東京都福祉保健局 都内各市町村の65歳健康寿命

5 障害の視点

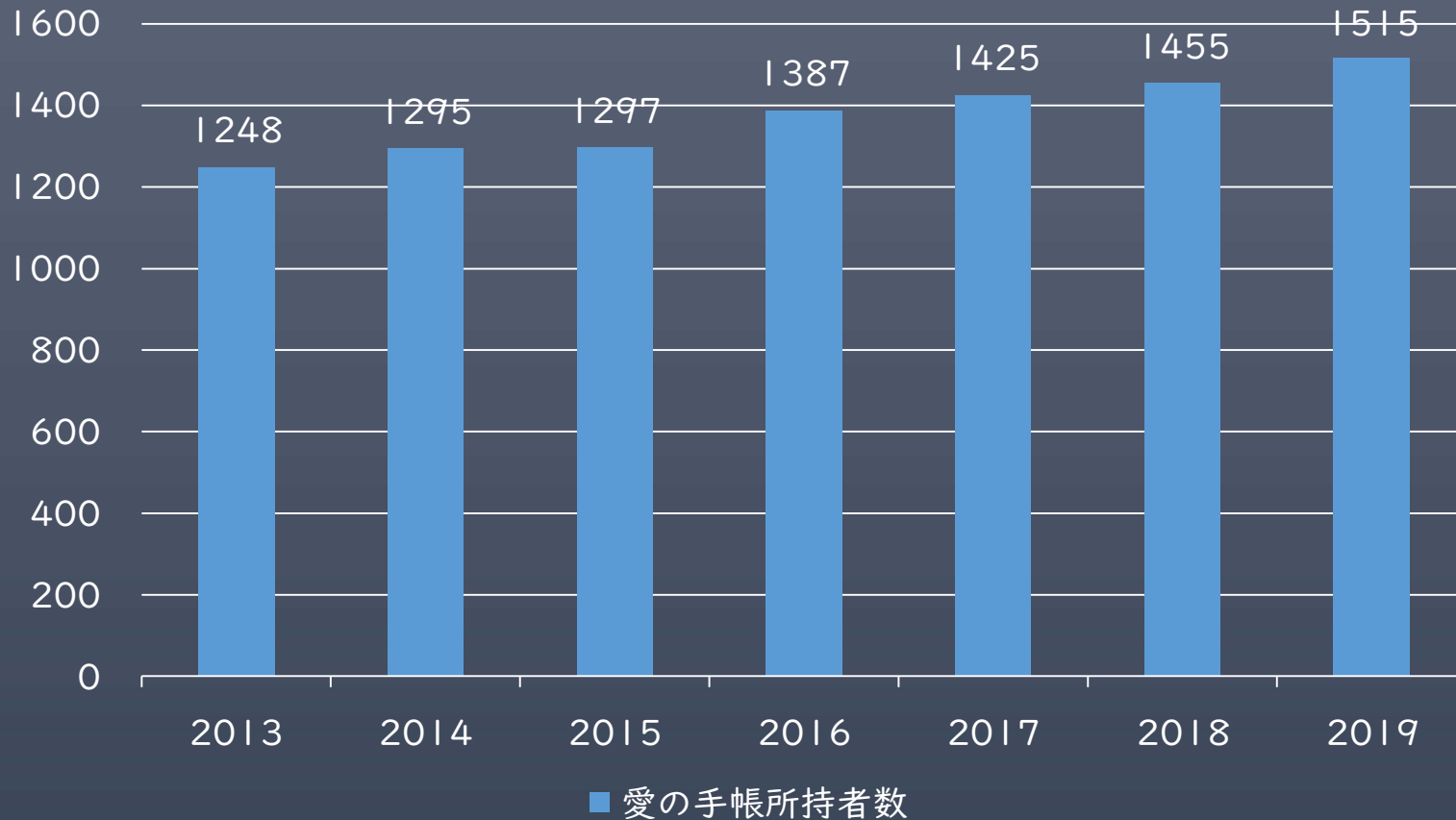
5-1 障害者手帳所持者数の推移（身体障害）



出典：中野区健康福祉部事業概要

5 障害の視点

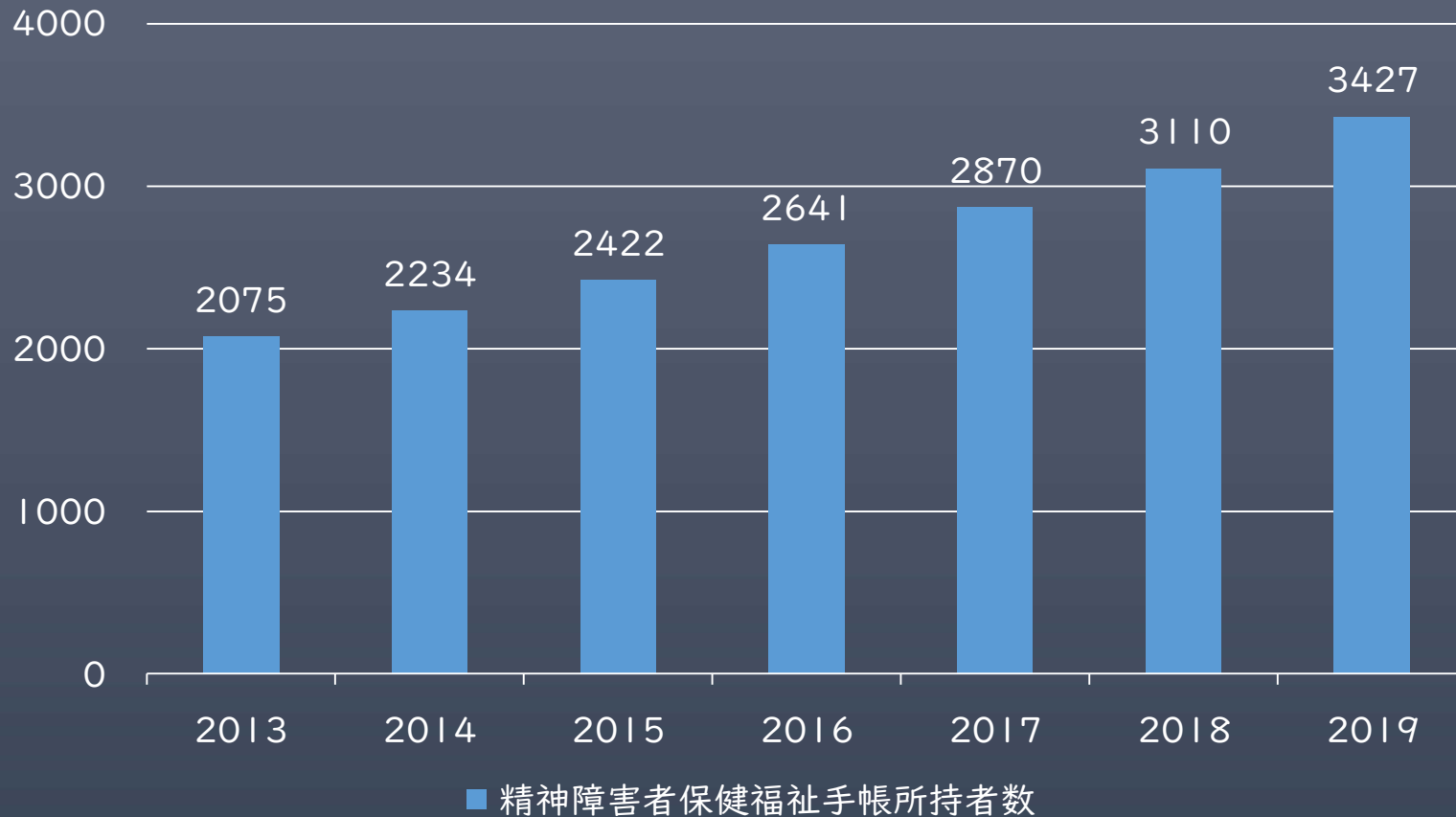
5-2 障害者手帳所持者数の推移（知的障害）



出典：中野区健康福祉部事業概要

5 障害の視点

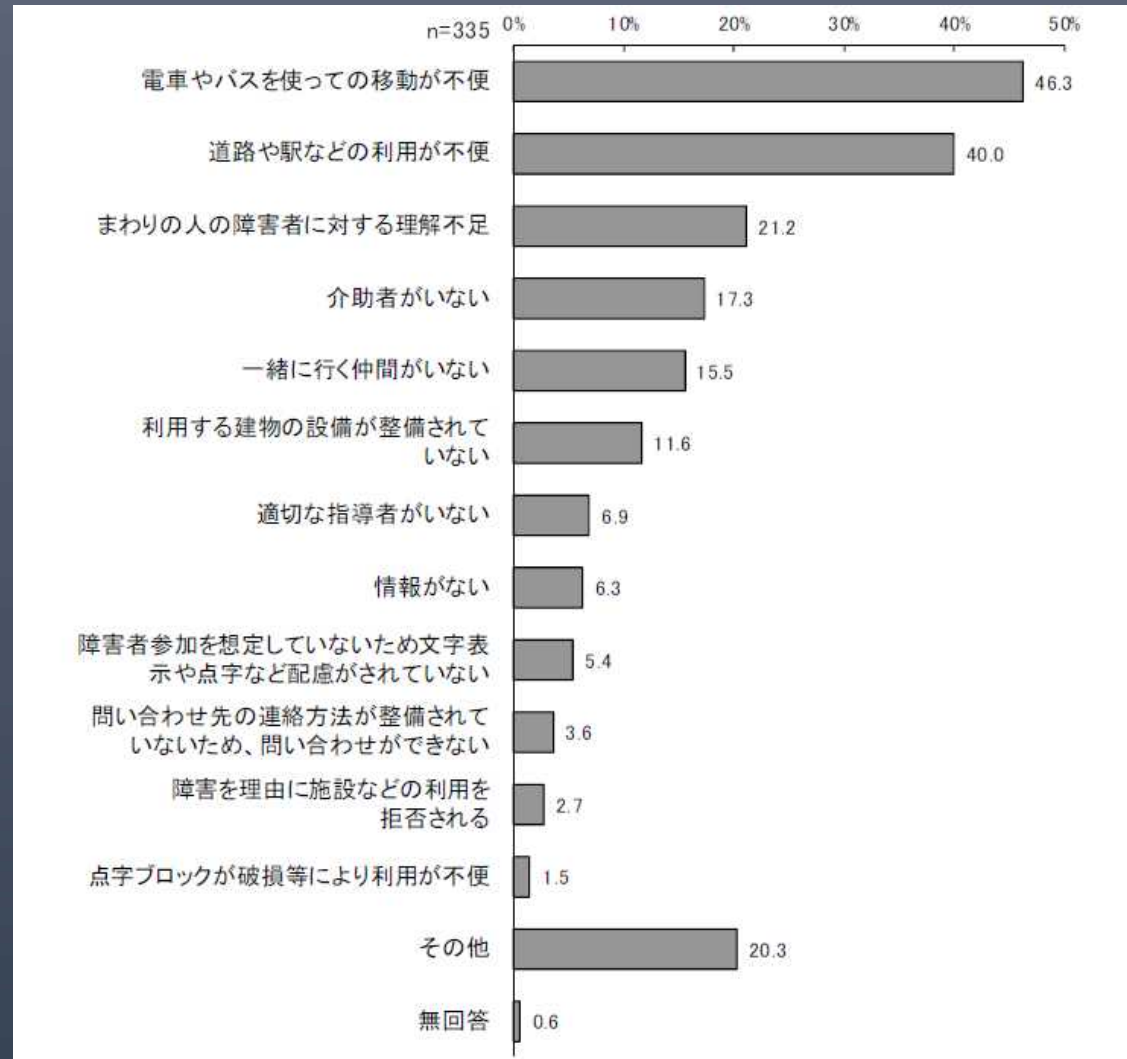
5-3 障害者手帳所持者数の推移（精神障害）



出典：中野区健康福祉部事業概要

5 障害の視点

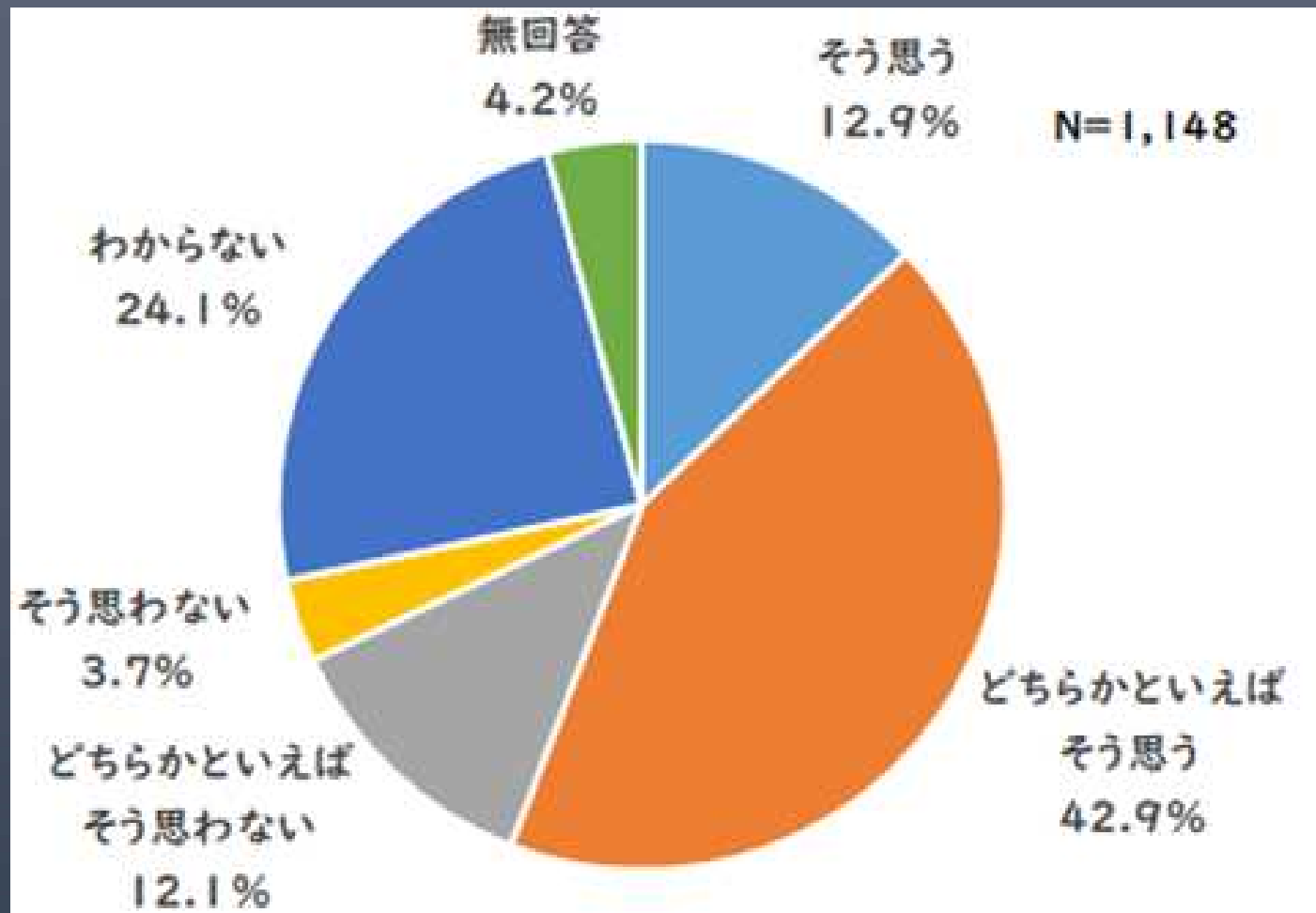
5-4 障害のある人が外出する上で妨げになっていること



出典：令和2年度(2020年度)障害福祉サービス意向調査報告書

6 その他

6-1 人権や価値観が尊重されている実感



出典：2020年中野区区民意識・実態調査(速報値)

7 視点別の具体的な取組事例

7-1 男女共同参画等の視点「ファミリー・サポート事業」

- 子育ての援助を受けたい者(利用会員)と子育ての援助をしたい者(援助会員)が会員になり、仕事や急な用事等で子どもの世話ができないときに、会員相互が助け合いながら子育てをする相互援助活動を支援。
- 保育園の送迎や子どもの預かり(一般援助活動)、病児預かり等(特別援助活動)の子育ての相互援助活動に関する連絡・調整を中野区社会福祉協議会に委託して実施。

7 視点別の具体的な取組事例

7-2 多文化共生の視点「日本語講座」

- 1989年から中野区国際交流協会では実施している事業。「日本語ボランティア実践講座」を修了したボランティアが講師となり、地域に暮らす外国人に日本語支援を行う。ボランティア1人につき学習者は1～5人程度で、「話す」「聞く」「読む」「書く」を学ぶ。学習者は、約50か国500人。
- 講座では日本語を学ぶだけでなく、季節の行事（節分・七夕など）も取り入れ、日本の文化に触れる機会を提供している。

7 視点別の具体的な取組事例

7-3 年齢・世代の視点「コミュニティカフェ」

- 地域住民の交流を目的として、区民活動センターなどで実施。
- 新井区民活動センター運営委員会が主催する『あらいカフェ「はとポッポ」』は全ての人を対象としており、週1回開催されている。

※区民活動センター運営委員会

町会・自治会から推薦された者を中核として組織されている

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「はとポッポ」は現在休止中

7 視点別の具体的な取組事例

7-4 障害の視点「やさしい手話教室」

- 手話への理解を促進するための啓発事業として、2月と3月に開催予定（令和3年度からは年間10回に拡充。）聴覚障害者が主体となり運営されている中野区聴覚障害者情報活動センターに委託して実施。
- 手話を使用する聴覚障害がある人との交流の機会でもあり、お子さんも参加可能（小学生以上。3年生以下は要保護者同伴）。